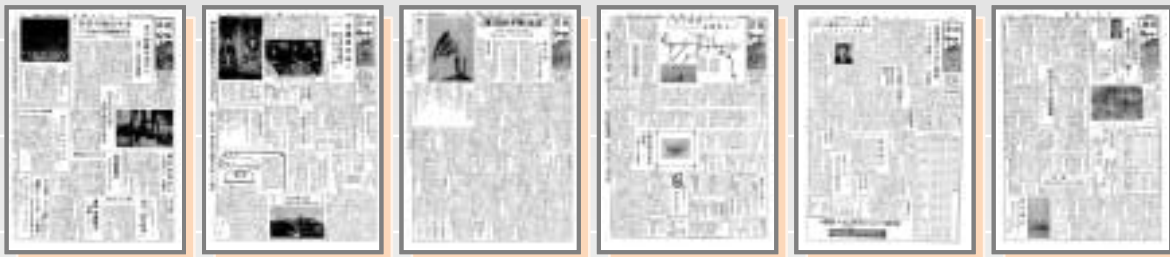


創刊号



昭和30年(1955)1月

400号



昭和63年(1988)2月



# 架け橋となって半世紀

# 広報つやま 600号!

そして、ここに600号を発行。半世紀にわたる広報紙の数々は戦後津山の歴史そのものにほかなりません。平成の合併を来年に控え、この600号を節目に広報紙を通して津山の歴史を振り返ります。

600号



平成16年(2004)10月



300号



昭和54年(1979)10月



100号

昭和37年(1962)9月

500号

平成8年(1996)6月

200号

昭和46年(1971)6月

特集

# 市民のみなさんとの おかげさまで

昭和の合併で現在の津山市が誕生し、広報つやま創刊号を発行したのが約50年前。毎月、市のお知らせやニュースを市民のみなさんにお届けしてきました。



396号

昭和の合併のときに出され、合併の必要性を説明しています。



広報つやま創刊以前の号外

# 歴史を刻んだ広報紙

年	おもなできごと	人口
昭和30年	昭和の合併で現在の津山市が誕生(昭30) 広報つやま創刊号を発行(昭30)	80,883
昭和35年	津山市新市建設計画を策定(昭35)	78,549
昭和40年	文化センターが完成(昭40)	76,007
昭和45年	スポーツセンターが完成(昭45)	76,368
昭和50年	草加部浄水場が完成(昭50) 中国道の吹田〜落合間が開通(昭50)	79,907
昭和55年	津山市総合計画を策定(昭52) 公共下水道建設に着手(昭53)	83,136
昭和60年	大規模農道の野村〜久米町間が開通(昭57) 現在の市庁舎完成(昭57) 津山市が障害者福祉都市に指定される(昭57)	86,837
平成2年	第1回津山国際総合音楽祭を開催(昭62) 第1回津山国際交流車いす駅伝競走大会を開催(昭63) 津山市が「潤いのあるまちづくり」優良地方公共団体自治大臣表彰を受賞(平4)	89,400



252号



134号

視覚障害の人に  
広報つやまを届けて  
津山点字グループ  
「キタタキの会」  
徳田 忠子さん(上河原)



点訳(活字を点字にすること)や点字講習、視覚障害を持つ人との交流を柱に平成元年から活動を始め、現在10人ほどが定期的に集まっています。広報つやまの点訳は5・6年前から始め、お知らせや健康情報を中心に毎月情報を発信しています。点字はすべて表音文字であるため、広報の抜粋情報だけで、毎月50ページにもなります。点訳は奥が深く、単なる奉仕としてだけでなく、自己研さんの意味でもやりがいのある活動です。今後も、広報の点訳に力を注いでいきたいです。

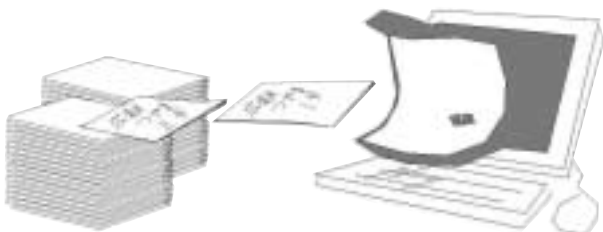
昔は手打ち式でしたが、現在は文明の力でスピードアップ!



広報つやまのデジタル化進行中!

~半世紀分の情報検索が手軽に~

広報つやまがコンピューターで創刊号から見られるようになります。現在、来春の合併を機にこれまでに発行した広報紙をデジタル化しています。来年1月には、図書館や市役所のコンピューターで見たい情報を簡単に検索できるシステムを整備する予定です。



広報つやまについてのお問い合わせは、市行政広報室 ☎32-2029へどうぞ。



529号



平成7年

戦後津山の

平成17年

平成12年

「ごみ非常事態を宣言(平7)」

津山市第3次総合計画

「津山いきいきプラン21」策定(平8)

都市計画道路 新錦橋押入線「全線開通(平8)」

家庭ごみ処理有料化をスタート(平9)

台風10号による集中豪雨により、市内各地が被害を受ける(平10)

グリーンヒルズ津山がオープン(平10)

市街地再開発ビル「アルネ・津山」が完成(平11)

平成の合併で新津山市が誕生(平17・28)

91,170

90,156

(約1万人)

491号

